

書簡

生田靖

拝啓 先般中西地方の会員の所在をお知らせいたさりありがとうございました。どうぞよろしく。

山陰では島大の山岡栄市氏だけでしたが、ようやく一昨日、松江に参つた折同氏とお会いし、種々教示をうけ、又今後協力して山陰地域社会研究にたずさわる約束をしましたことは大変愉快でした。

さて、研究通信の提案につき次の意見を申します。

B氏の「もっとテーマを広げる」案に賛成です。交通不便な仙台でさえそれがほど集まつたのですから、来年の東京は一そうの盛会が予想されますので、とにかく一日会期を延長しても、盛況なる印象がほやける恐があります。一つの特別発表は仕方がないとしても、ひとはできるだけ一つのテーマに集中した方が効果的です。

そのテーマとしては、やはりB氏の出された「農地改革による地主の変貌」などは好適です。これが農村に残存する封建性の割合の大切なポイントですし、又これなればどの地域の発表者にも研究可能テーマだからです。

何れにせよできるだけ早く宿題を決定してほしいです。それには全会場にアンケートを出して多數決によつてきめるのも一法です。

そこでテーマがきまつたら、各地の研究が比較できるように調査項目を最大限統一してやつてほしいです。たとえば、地主の変貌についてなら、

スヤミ小作料をとつているか、又大中、小地主の夫々にいかに影響がちがつているか、3. 地主の子弟はどのような生活コースを辿りつゝあるか、などができるだけくわしい共通調査表を作つてやりたいのです。そしてできれば九州、四国、中国等各地域毎に平均に発表者をわりあてるか、又は調査ターミンを山村地主、水田地帯、畠作地帯等に分けて、夫々に発表者を配分するとか、とにかく高度の統一性と計画性がほしいと思ひます。